

第2次川北町地球温暖化対策実行計画における点検報告書 (令和6年度実績)

町では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、温室効果ガス排出量を削減するため「第2次地球温暖化対策実行計画」を令和5年度に策定しました。本計画では、年1回の点検評価を行うこととしていることから、その結果を報告します。

【基準年度・目標年度・最終年度】

基準年度：平成25（2013）年度

目標年度：令和12（2030）年度

↓

最終年度：令和32（2050）年度

平成25年度を基準とし、8年間で温室効果ガス（CO₂）
排出量を50%削減することを目指します。

国は、CO₂排出量実質“ゼロ”を目指すとしています。

※他の自治体でも、CO₂ゼロに向けた動きが加速しています。

【当町のCO₂排出量の推移】

※基準年度

※基準年度×50%

H25年度排出量	目標とする排出量	R6年度排出量
2,070,914 kg-CO ₂	1,035,457 kg-CO ₂	1,072,244 kg-CO ₂

※R6-H25

削減した排出量	削減率
▲998,670 kg-CO ₂	▲48.2%

令和6年度のCO₂排出量実績は、1,072,244kgであり、基準年度と比較すると▲998,670kg（▲48.2%）となりました。前年度からCO₂排出量を大幅に減らすことができ、目標とする50%削減まであとわずかとなっています。

令和6年度は、能登半島地震の被災地支援でガソリン・軽油の使用量が増えたものの、新たな取組である役場庁舎等に供給する電気の一部をゼロカーボン化（CO₂ゼロの電気を供給）することで、結果的にCO₂排出量を大きく削減することができました。なお、この取組でのCO₂削減量は約▲237,000kg（▲18.1%）となっています。

来年度以降は、ガソリン・軽油の使用量が落ち着くことや本庁舎等の公共施設のLED化を進めることなどを踏まえると、目標とする50%削減はおおよそ達成できる見込みです。

（参考）

項目別CO₂排出量

年度	ガソリン (kg-CO ₂)	灯油 (kg-CO ₂)	軽油 (kg-CO ₂)	A重油 (kg-CO ₂)	電気 (kg-CO ₂)	廃プラ (kg-CO ₂)	二酸化炭素 総排出量(kg-CO ₂)	削減率 (H25基準)
H19	2007	7,661	407,128	16,061	105,676	1,066,362	107,800	1,710,688
H25	2013	6,267	445,840	51,270	43,360	1,524,177	—	2,070,914
H30	2018	5,669	362,507	5,728	—	1,316,949	—	1,690,853
R1	2019	5,898	349,409	4,949	—	1,219,152	—	1,579,408
R2	2020	3,918	378,425	2,447	—	1,102,653	—	1,487,443
R3	2021	4,298	395,113	2,995	—	1,176,455	—	1,578,861
R4	2022	6,772	380,298	3,626	—	1,179,584	—	1,570,279
R5	2023	6,019	329,556	3,366	—	1,064,706	—	1,403,647
R6	2024	9,194	311,181	6,817	—	745,051	—	1,072,244

評価としては、「良好」といえます。

2030年の50%削減は達成できる見込みであることから、2050年の“CO₂排出ゼロ”に向けてさらに取組を加速し、具体的な施策・取組を検討していきます。